

公共施設マネジメント基本計画の策定に係る

第3回 対話の場

資 料



平成 27 年 10 月 23 日 (金)

牧之原市自治基本条例推進会議

1 振り返り

(1)第2回 対話の場

日時：平成27年10月8日(木)午後2時30分から午後5時30分

会場：榛原総合病院 展望レストラン

ワークショップ

テーマ

「分野別のありたい姿」

テーマ

「分野別の現状を聞いて、ありたい姿とのギャップを感じたこと」

話し合いの様子



【第1回・現地視察の振り返り】大切にしたい視点として「まちづくりを考えよう」などの意見が出た。



第1回の共感ポイントに付け加えたいこと



分野別のありたい姿
現状を聞いたギャップを話し合う



分野別のありたい姿、分野別の現状を聞いて感じたギャップのまとめは、別添資料のとおり

2 今日の進め方

(1) 前回の振り返り

- ・ 前回の内容は、分野別の話し合いを進めるために非常に重要な内容
- ・ 前回の内容をグループでもう一度話して、内容を思い出す。

前回のポイントを
忘れずに！

(2) これまで話した大切にしたい視点のまとめ

- ・ 第1回の共感ポイントに第2回で付け足した意見を基に「大切にしたい視点」をまとめる。
- ・ 事務局がまとめた案に対して、感想、付け加えたいこと、聞きたいことなどをグループで話して発表する。

今後の20年間における大切にしたい視点がまとまる。

大切にしたい視点を
まとめる。

【本日の資料のまとめ方の例：4頁以降】

| 大分類 | 中分類 | 小分類 | 意見 | グループ番号 |
|----------|------|---------|----------------|--------|
| 大切にしたい視点 | 未来志向 | 長期的視点 | 長期的視野で考える必要性 | 4 |
| | | 幸福観の再定義 | 幸福度は施設の数じゃない!! | 6 |

中分類を大切にしたい視点、小分類をその内容としてまとめる。

(3) 分野別のありたい姿に関する意見を深める。

- ・ 前回の意見の中から大事にしたい意見をグループで3~5つ選ぶ。
- ・ その意見を文章化し、全体で投票する。
分野別のありたい姿の意見が深まるとともに、参加者の関心の傾向を見る。

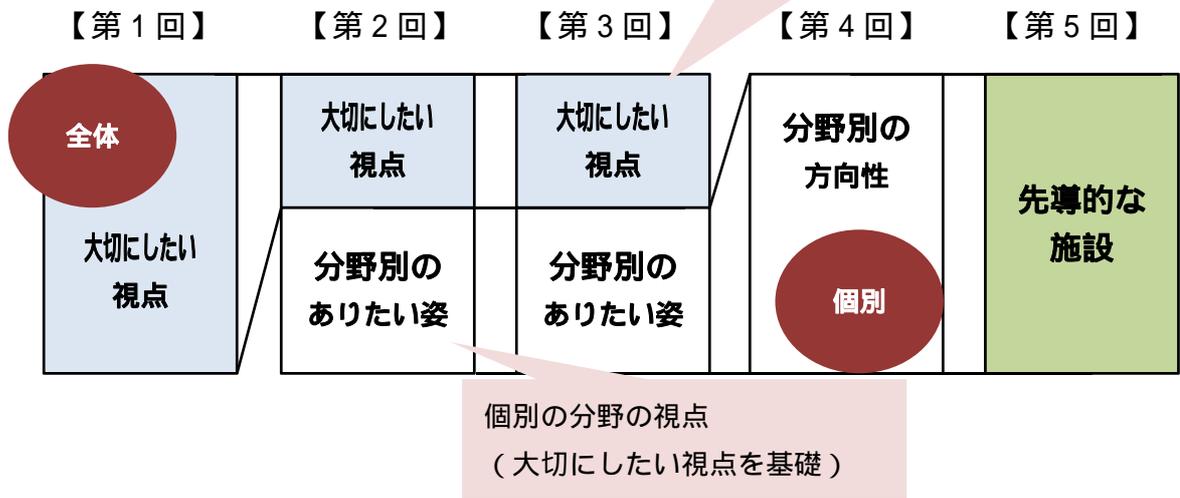
| No | 部会 | グループ |
|----|-------------|------|
| 1 | 行政・文化施設 | 1・2 |
| 2 | 学校・体育・子育て施設 | 3・4 |
| 3 | コミュニティ・公園施設 | 5・6 |
| 4 | 保健福祉・観光産業施設 | 7・8 |

第3回目は、対話の場の中間地点です。
大切にしたい視点をしっかりまとめるとともに、分類別の意見を深め、第4回、第5回でのまとめに繋がります。

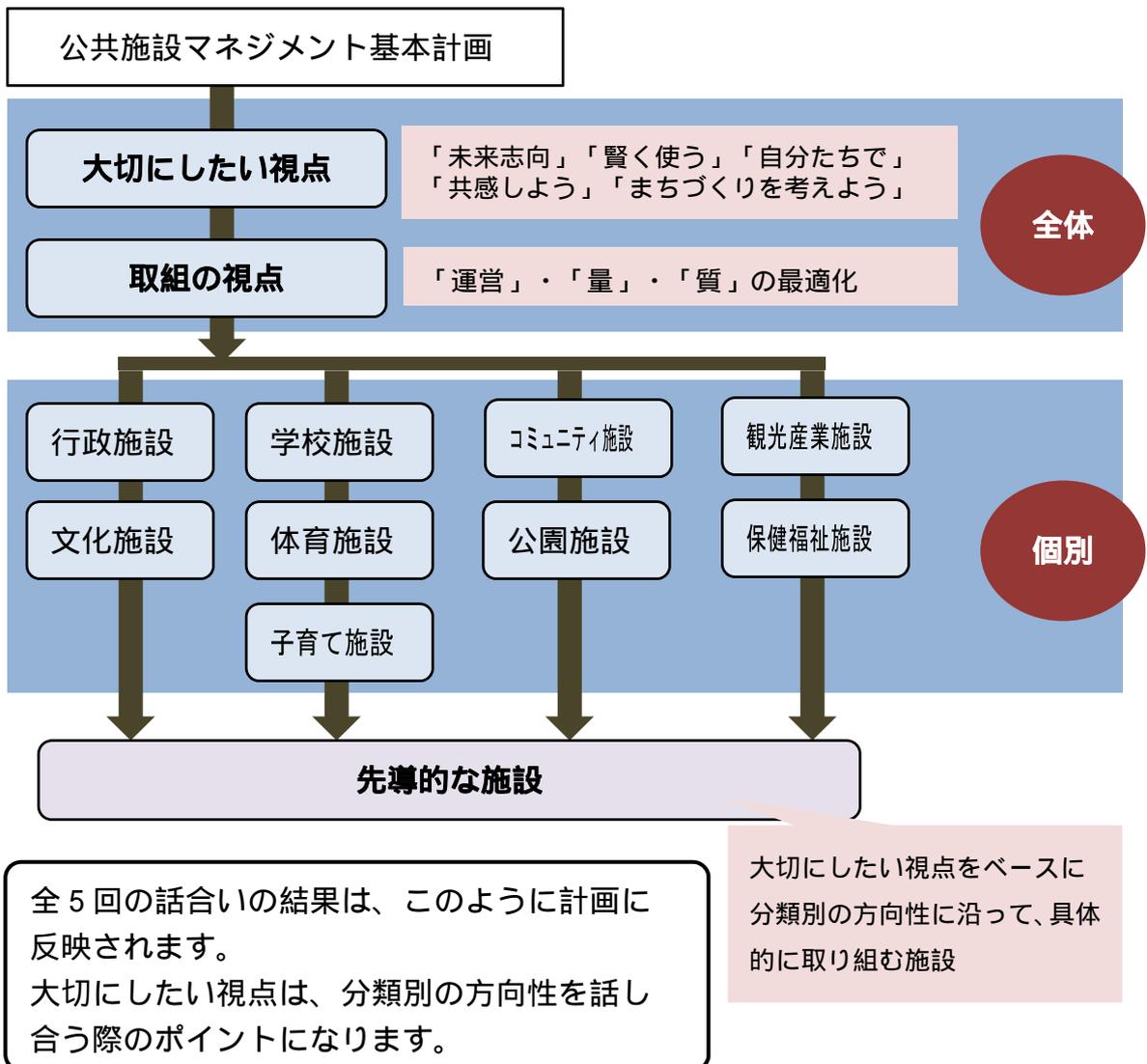
第3回で更に具体的に
話し合おう。

3 対話の場のプロセスと計画の構造

(1) 全5回のプロセス



(2) 計画の構造



4 大切にしたい視点（基本理念）案

【視点1】 未来志向

(1)20年後の将来に向けて、ワクワク感を持って進めよう！

- ・20年後を見据えて、時代の変化とともに考え方を変える。
- ・既成概念にとらわれず、発想や意識を転換しよう。
- ・センス良く、おしゃれに取り組もう！
- ・幸福度は施設の数じゃない。
- ・デザイン性、使いやすさを追求する。
- ・魅力ある公共施設にしよう！



(2)今すぐに取り組まないと手遅れになる。
スピード感を持って、今やるしかない！

- ・子ども達の明るい未来のために今やる。
- ・次世代に借金、ツケを残さない。

(3)大切にしたい視点の基で優先順位（プライオリティ）
の高いものから積極的に取り組もう！

- ・優先順位を考えて、一点集中型でもいい。
- ・安心して子供を産み育てたくなる環境
- ・地域のコミュニティ
- ・災害時の有効性などの防災の視点
- ・世代の違う人たちの交流
- ・人口が増える、少子化を止める



【視点2】 賢く使う

(1)今あるものを活かして、賢く、スマートに施設を使おう！

- ・施設の新しい用途や価値を発見しよう！
- ・現状に合った使い方をする。
- ・長く使う、大切に使う、他の地区と共同で使う。
- ・日々の手入れやお掃除、その他工夫をして建物への愛着を育てよう！
- ・壊すにも金がかかる。賢くコンバージョン（転換）

(2)無理・無駄を省いて低コストで！ 限られた資源・資産を効率よく使おう！

- ・平日、休日の有効な活用
- ・利用者多数はOKだが、少数ではNG。コストをペイできず不公平。
- ・数を減らすけど、稼働率をアップする。
- ・無駄な施設はつくらない。利用の無い施設は閉める。

(3)工夫して質の高い使い方をしよう！

- ・使用していない場所、施設の利用
- ・リサーチ、分析が必要
- ・不要な施設と不足している施設の使い方。複合化を進める。
- ・量は減らしても質を上げ、充実度UPを！ 楽しく使う。
- ・これまで出来なかったことを出来る方法を考える。
- ・行政が出来ないなら、できるところへ渡す。



【視点3】 自分たちで

(1)みんなで考え、市民力を活かして取り組もう！

- ・市民の声を活かす仕組みが欲しい。
- ・利用団体も話し合いに参加しよう。
- ・多くの人に関わり、施設に親しみや愛着が持てる工夫を！
- ・市民同士、市民と行政による対話をして、今からでもすぐにやろう。

(2)自分たちのできることは、自分たちでやろう！ すぐにやろう！

- ・要望を言うだけでなく、自分たちのできることを考えよう！
- ・利用と負担を一緒に考えよう！
- ・みんなで維持管理していこう（ソフト面）！

【視点4】 共感しよう！

(1)広く情報を発信して、状況や考え方を共有しよう！

- ・ビジョンの提示と情報提供が前提
- ・地域のつながりを大切に
- ・合併の経緯も知ろう！
- ・現状を知らないと今後の活用方法に繋がらない。
- ・おもしろい使い方や魅力ある施設を発信して関心を持ってもらおう！
- ・我慢ばかりではない、うれしい事やメリットを発信
- ・データ、数だけでなく、目的、誰のためのものかをもっと知りたい。もっといろいろなアイデアが浮かぶかもしれない。

(2)市民、地域の声を聴くため、意見交換の場を設けよう！

- ・現状に満足していない人もいる。市民の感情を大切に！
- ・市民の声を良く聴いてほしい
- ・人生の知恵の共有
- ・減らした後のことも考えよう！



(3)対話で相手の知識、理解、やる気を引き出す進め方をしよう！

- ・我慢するためには情報、理解が必要
- ・利用者が少なくても一方的になくすわけにいかない。担保が必要
マイノリティの立場に配慮
- ・修繕、廃止、建替の適切な判断、公平な基準をつくる。
- ・充足感を満たしつつ削減する。
- ・一時的な非効率を快く受け入れる、頭と気持ちを準備しよう！
- ・歩み寄りの相互扶助感
- ・動機に対する共感、理解
- ・市民の皆さんの才能が広がって、進化していく進め方をしよう！

【視点5】 まちづくりを考えよう！

(1)まちのデザインをイメージしよう！

- ・そもそも...牧之原市ってどんなまちならいいだろうね。
- ・施設分類毎ではなく、全体でとらえる。
- ・高台開発との関連
- ・想いや歴史
- ・1年中いいお天気ってセールスポイント
- ・海に近い施設が多い、榛原と相良を R150 が繋ぐ。



(2)そのイメージ合わせて複合化や工夫をしよう！

- ・自分の団体、家族の都合だけでなく、市民全体の利益を考える。
- ・それぞれの建物には長い歴史や夢がある。地域の人々の思い出を大切に
残すものは残す。

(3)周りの市町に「おっ」思われることをしよう！

- ・ちょっと目立つことをしよう。
- ・民営化 + 市営でルンルンしたい。
- ・独自性を活かした実効性

5 連絡事項

次回は、11月17日(火) 午後1時30分から4時30分

会場は、坂部区民センター(牧之原市坂部508-1)です。

【メモ欄】

【事務局】

牧之原市政策協働部地域創生課(本間直樹)

電話: 0548-23-0053 FAX: 0548-23-0059

E-mail: seisaku@city.makinohara.shizuoka.jp